

平成26年度 水道事業会計決算のあらまし

皆さまからいただいた水道料金は、このように使いました。

水道局では、「独立採算の原則」のもと、皆さまからいただいた水道料金を主な財源として、効率的な事業運営に努めているところです。このたび、平成26年度の決算が確定しましたので、その状況についてお知らせします。



◆ 決算のポイント！

● 約22億円の純利益を計上

水道料金収入は毎年減少傾向が続いており、平成26年度も前年度に比べ約600万円減少しましたが、平成26年度から適用された地方公営企業会計制度の改正の影響などにより、収益的収入は約107億4,500万円となり、前年度に比べ約16億6,300万円増加しました。また、収益的支出は約85億1,100万円となり、これも会計制度改正に伴う影響などにより、前年度に比べ約15億4,500万円増加しました。

この結果、平成26年度は、約22億3,400万円の純利益を計上しました。この純利益や現金支出のない減価償却費などは、水道施設整備のための建設財源などに使用します。

● 企業債残高を約308億円に縮減

借金である企業債の発行を抑制した結果、企業債残高は前年度に比べ約15億1,400万円減少し、約308億円となりました。

◆ 水道事業は収益的収支と資本的収支の2本立ての会計になっています！

収益的収支（水道料金などの収入、水道水をつくって送り届けるための費用など）

単位：百万円〔消費税抜き〕（ ）内の数値は前年度決算との差

収入合計
10,745(1,663)

支出合計
8,511(1,545)

水道料金 8,340 (△6)	当年度純利益 2,234 (118)	減価償却費など (非現金支出) 2,664 (△255)
その他 2,405 (1,669)	外部に対する支払いを伴わないため、この分の現金は企業内に蓄えられ、建設改良事業費などの財源となります。	借入金の支払利息 696 (△49)
		人件費 962 (△51)
		委託料・修繕費など 4,189 (1,900)



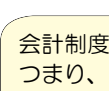
水道料金収入は少し減ったけど、純利益が増えたんだね。



会計制度が変更され、見かけ上純利益が増えたんだよ。



会計制度が変わってなかったらどうだったの？



会計制度の改正がなければ純利益は約16億円…つまり、前年度よりも約5億円も減るんだ。経営の成績があがっているわけではないんだよ。

資本的収支（建設改良のために調達した資金、建設改良に使った費用など）



前年度より借入金が減って、建設改良費が増えているのはどうして？



借入金は、前年度借り換えをしたから収入も支出も減っているんだよ。建設改良費が増えているのは、古い水道管を入れ替えたり、地震に強い水道管に入れ替えているためだよ。これからも地震などの災害に備えた事業を計画的に進めていく必要があるんだ。

不足する額は、前年度から繰り越した純利益や減価償却費などの内部留保資金など（自己資金）で補っています。

単位：百万円〔消費税込み〕（ ）内の数値は前年度決算との差

収入合計
1,554(△703)

支出合計
6,130(△399)

不足額 4,576 (304)	建設改良費 4,108 (332)
国からの借入金など 1,554 (△703)	借入金の返済など 2,022 (△731)

平成26年度に実施した主な事業

● 安定給水確保するための事業	10億4,763万円
● 配水運用を強化するための事業	5億2,307万円
● 水道施設の維持管理を強化するための事業	6億8,237万円
● 施設の更新、改良のための事業	16億400万円
● 災害復旧事業	2億1,584万円



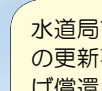
平成23年度の水道料金収入が落ち込んでいるのはどうして？



平成23年度の落ち込みは震災の影響なんだ。その後、震災以前の水準近くまで回復したんだけど、回復要因の一部は震災に関連した一時的なものと考えられるので、これからは、人口減少や少子高齢化、節水型社会の進行などで、水道料金収入は減少していくと見込まれているんだ。



企業債残高は、年々減ってきているねえ。



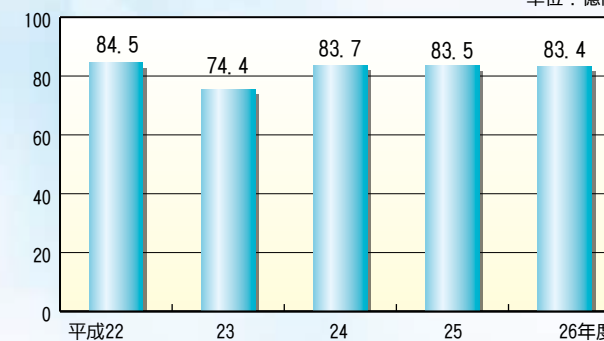
水道局では、今後増大していく老朽管や老朽施設の更新事業に備えて、企業債の借入れ抑制や繰上り償還を行い、企業債残高の縮減に努めているんだ。平成26年度末の残高は、前年度より約15億円減少して、約308億円になったよ。



グラフをみると、残高は毎年着実に減ってきて、この9年間で約110億円以上も減少したことが分かるね。

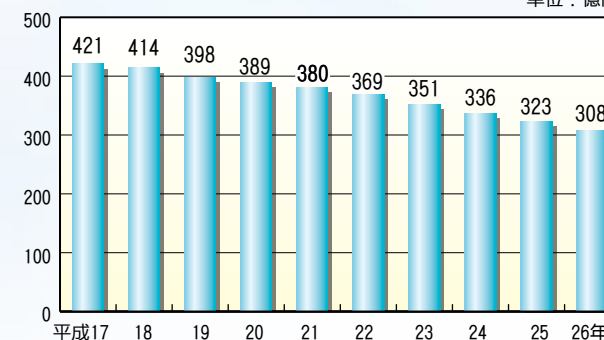
水道料金収入の推移

単位：億円



企業債残高の推移

単位：億円



〇お問い合わせ 総務課出納係 TEL.22-9314

水道施設の役割おしえて!! <その8>

すい かんきょう きょうりょうてん が かん
水管橋、橋梁添架管

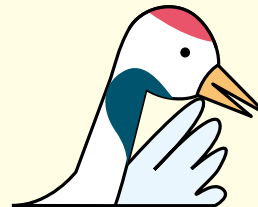
水管橋や橋梁添架管は、河川などの上を横断する水道管です。水道が河川などに交わるとき、水道を対岸に渡す大事な役割を持っています。

水道管を単独で渡すものを水管橋、道路などの橋に設置するものを橋梁添架管と呼び、横断する河川の幅や水道管のサイズにより、様々な形のものがあります。

市内で一番太い水管橋は、平中塩の新田川水管橋で、口径は1mもあります。また、市内で一番長い橋梁添架管は、勿来地区の鮫川大橋橋梁添架管で、全長は約500mです。

皆さんは、見かけたことがありますか？

え〜っと、写真はどちらの種類かな？



水道管だけが渡されているから…水管橋だね！



〇お問い合わせ 経営企画課広報情報係 TEL.22-9309